

# 平成24年度 高冷地水稻生育速報(第10報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(8月7日調査)

品種名	年度	出穂期	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	有効茎歩合 (%)
コシヒカリ	本年	8月4日(4日早い)	443(106%)	63.3%(-10.3)
	前年	8月7日	423	75.9%
	平年	8月8日	419	73.6%
ひとめぼれ	本年	8月1日(4日早い)	496(106%)	80.9%(-5.6)
	前年	8月5日	418	91.1%
	平年	8月5日	468	86.5%
たかやまもち	本年	7月27日(2日早い)	428(97%)	73.3%(-18.3)
	前年	7月28日	376	90.2%
	平年	7月29日	439	91.6%
ひだほまれ	本年	8月1日(2日早い)	299(99%)	63.5%(-14.7)
	前年	8月3日	274	79.7%
	平年	8月3日	302	78.2%

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 出穂期は平成17~23年の調査、穂数及び有効茎歩合は過去5年間の平均値

穂数、有効茎歩合: 成熟期に達していないため推定値

( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 気象概況

7月第6半旬は、日最低気温、日最高気温とも平年を上回る日が続き、平均気温は平年より2.4℃と大幅に高くなった。2日間降雨があったため、降水量は平年より多くなっているがいずれも短時間の降雨であり、日照時間は平年値を大きく上回った。

### 2) 生育状況

いずれの品種も出穂期(全茎の4~5割が出穂した日)を経過した。「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」で平年より4日、「たかやまもち」及び「ひだほまれ」では平年より2日といずれの品種も平年より早い出穂期となった。

現時点で推定される穂数は、「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」ではいずれも平年対比106%と平年よりやや多くなったが、「たかやまもち」及び「ひだほまれ」では平年対比97%及び99%とほぼ平年並みとなっている。推定される穂数を過去の調査における茎数の最大値で除した有効茎歩合は、いずれの品種も平年を下回っており、その差は-5.6~-18.3ポイントと品種によって異なる。

### 3) 病害虫等の発生状況

紋枯病の罹病株が増加し、病状が進行している株が目立つようになった。セジロウンカ、斑点米カメムシ類が見られ、特に斑点米カメムシ類は例年より多く見られる。

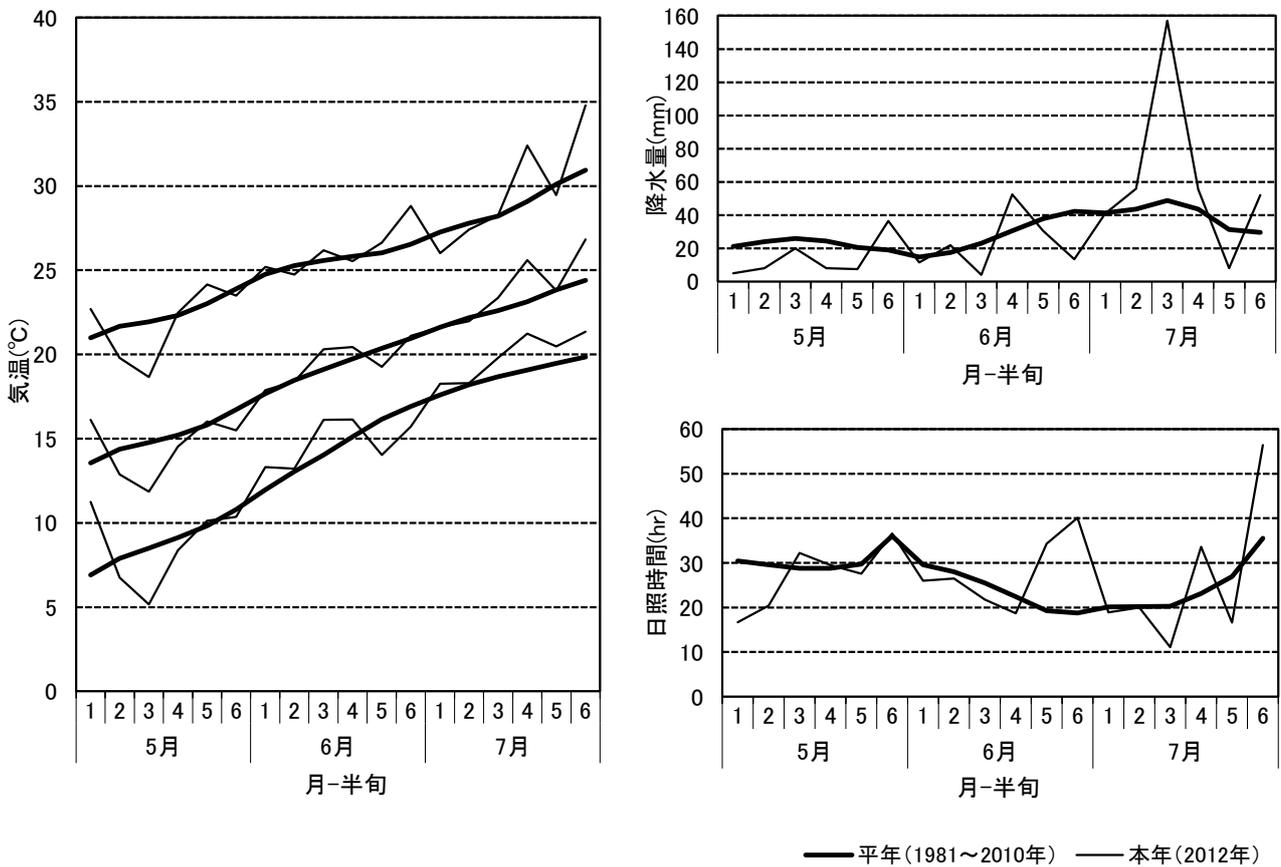
### 4) 今後の管理

斑点米カメムシ類の適期防除に努める。使用する剤型により適期が異なるので留意し、適期を逃さないようにする。出穂期~開花期は常時湛水とし、その後は間断灌水で管理する。早期の落水は品質や食味の低下を招くので、出穂後30日間は落水しないこと。

<参考> 前回調査時(7月31日)の生育概況

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	90.6 (93%)	503 (109%)	4.8 (+0.1)	35.4 (+1.9)	12.6 (-0.9)
	前年	97.5	462	4.7	33.5	13.5
ひとめぼれ	本年	87.1 (91%)	527 (125%)	5.0 (+0.6)	39.2 (+2.6)	12.5 (-2.3)
	前年	95.8	422	4.4	36.6	14.8
たかやまもち	本年	—	—	—	—	—
	前年	—	—	—	—	—
ひだほまれ	本年	91.0 (91%)	346 (141%)	5.1 (+0.3)	39.0 (-1.6)	13.0 (-2.2)
	前年	99.9	246	4.8	40.6	15.2

<参考> 半月別気象図(高山市アメダス, 7月31日現在)



岐阜県中山間農業研究所  
 TEL 0577-73-2029  
 FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>